

園長先生
経営層専門
情報誌

選ばれる園になるために！

ほいくジャーナル

2026 vol.20
SPRING

保育士が知っておきたい発達障害
保育現場が変わらない本当の理由とは

若手の離職を防ぐ処方箋
現場を止めない2分の対話術

「制度改正」を園の未来を守る
「備え」に変える

元プロフットサル選手直伝！
「後ろ(背中)」の育ちで発達促進！



複数応募可能！
当選率UP！

春のプレゼント
キャンペーン

詳細は裏面へ

vol.20

2026
SPRING

2026年4月1日発行
発行元/株式会社レクシースメディア事業部
〒465-0025 愛知県名古屋市長区上社2丁目218 森本ビル4C
☎052-898-4206

配達停止希望の際は添付のアンケート用紙
裏面にてお知らせください。

日本唯一の国立幼児教育機関

東大CEDEP

と考える、「関係性」のデザイン
保育士そのものが環境である

ほいくジャーナル

春のプレゼント

キャンペーン

Campaign

5園様

子どもが転んでも安心、本物の質感と安全性

園庭専用人工芝 2m×1m & ケンケンパリング



人工芝：2m×1m リング：材質 ポリエチレン
外径 28cm / 内径 24cm / 厚さ 0.5cm / 10本

特集でご紹介した園庭専用人工芝『キングターフ』は、子どもたちが「ここでサッカーやりたい！」と声を上げるほどの圧倒的なクッション性を誇ります。自由に大胆な遊びを引き出す厚さ3センチの衝撃吸収層で転んでも痛みありません。10年使い続けられる品質を、子どもたちが夢中になる独自の衝撃吸収力を、ぜひあなたの園でもお試しください。今回は、さらに遊びの幅を広げるアイテムとして、カラフルなケンケンパリングをセットにしました。連結自在なジョイント付きです。



柔らかい
PE素材



人工芝専門店
フィールドマジック

☎052-898-4188

年中無休 9時～17時

✉info@field23.com 🌐https://field23.com/

3園様

つくる喜び、考える力。
感性と指先の感覚を育む

カラフルお砂場遊びセット



折りたたみバケツに収納可能

3つのバケツ・スコップ・動物砂型など、たっぷり入ったお砂場セットです。種類が豊富なので、集団遊びにも最適。丈夫でやわらかいシリコン素材なので日々の使用も安心。便利なメッシュの収納袋付きで、お片付けの習慣づけにも。外遊びがさらに充実する人気のセット、ぜひ園での活動にご活用ください。



専用
収納袋

主な素材：プラスチック
製品サイズ：15×15×20cm 590g

※別の同等品に変更になる場合がございます。

プレゼント応募方法

同封の応募用紙に必要事項をご記入頂き、
FAX・またはQRコードにてお送りください。

FAX 052-769-6027



応募締切

2026 4/30 [木] 必着

ご当選

おめでとうございます！

ほいくジャーナル

vol.19 プレゼント企画 ご当選園様

愛知県 曾池ひかり幼稚園
埼玉県 あさひなのはな保育室

ほか8園さまご当選！

いただいた個人情報は、プレゼントの発送及びお問合せ内容の対応として利用させていただきます。お寄せいただいたご意見・ご感想はイニシャル・所在地とともに誌面に掲載させていただく場合がございます。

Documentary Report

Trouble

コンクリートの硬さと
水たまりが長年の悩みだった



Before

Answer

写真は嘘をつかない

遊び、体操、サッカー…
3年間酷使された人工芝の今の姿



After

2026年2月撮影
人工芝施工から3年経過
した屋上スペース

東京都北区の学校法人隆志学園。母体となる幼稚園に併設された認可保育所『さくらキッズ』では、園独自の教育方針に基づき、英語や体操、サッカーなど、子どもたちの可能性を広げる豊かなカリキュラムが実践されている。

そんな同法人の教育環境を支える、幼稚園の屋上スペース。さくらキッズの活動場所としても活用されるこの場所には、かつて一つの課題があった。それは、コンクリートむき出しの床面。安全管理を徹底する園が、屋上の床に求めたものとは？

施工から3年。かつて人工芝を敷設したその場所を、本誌取材班が訪れた。目の前に広がっていたのは、子どもたちの歓声が響く第2の園庭へと進化を遂げた姿だった。

これは、過酷な環境で証明された人工芝の耐久性の記録である。

背面は「見えない」からこそ、発達を促す

背中や背面は、自分の目では確認できません。

そのため子どもにとっては、使っていても実感しにくい、意識が向きにくい部位となります。だからこそ、意識的に背面を使うことで、脳と身体を繋ぎ合えず発達刺激となります。その結果、子どもは無意識に身体全体をダイナミックに使えるようになり、**目と身体の協応** **走る** **止まる** といった動きがスムーズになります。

また、力の入れどころが自然とわかるようになるため、動きがぎこちない子には積極的に後ろが感じられる遊びを取り入れると良い変化が生まれます。このように、背中、背面、後ろといった見えない場所に意識が届いたとき、子どもの動きは自然と前へ広がっていきます。



今日からできる 背面を育てる運動あそび 3選

★ ボールおんぶ歩き

背面の感覚が目覚める

ボールをおんぶして歩く(または走る)。できるようになったら、手を使わずに背中のバランスだけで落とさないようにする。年長さんなら、2人一組で背中合わせでボールをはさんで歩くのもOK。



★ 後ろ向きジャンプ

空間認知と全身連動が自然に促される

子どもたちに「前!」「右!」「後ろ!」と方向を指示し、その方向にジャンプする。後方の安全を確保してあげてくださいね。



★ 背中タッチジャンプ

自分の身体位置を感じる力が育つ

両手で自分の背中をタッチ、お尻をタッチ、肩をタッチしながらその場でジャンプする。音楽があるとリズム感もつかめてGOOD!



私たちの日常生活は、「前を見る」「前」に進む「手元で操作する」といった体の前面を使う動きが中心です。一方で、背中や背面を意識する動きは、意図的につくり出さなければほとんど経験できません。しかし、実は「後ろ」の発達が姿勢の安定やスムーズな動きの土台を作るのです。

message

園のみなさまへ

運動あそびの役割は、技術を教えることだけではありません。日常生活では使うことのない身体の動かし方を体験させ、身体性を豊かに広げていく役割もあります。新年度の動きづくりが子どもたちのその後の発達を促進させます。

ポラスター



YouTube



ポラスター 高橋亮祐 検索

スポーツ運動あそび / お茶コーチ

高校生の時に保健体育の指導案を作成し実践したのをきっかけに指導者としての道を志す。大学在学中にキッズサッカーのコーチとして近隣の幼保こども園へ出向き指導をスタート。卒業後は選手としての可能性に挑戦するために国内外のフットサル・ビーチサッカーのTOPリーグでプレー。中学校保健体育講師、広告代理店営業、保育士養成専門学校非常勤講師を経て、現在NPO法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスターの理事として運動スポーツ・遊びを通して地域課題、社会課題の解決に取り組んでいる。イタリアフットサル選手時代にレジオアプローチの幼児教育哲学に感銘を受け、帰国後こどもの感性を大切にしたいアプローチでスポーツ運動あそび指導を実践。「楽しい」を1番にこれまでに延べ1万人以上の子どもから大人を指導している。



高橋 亮祐



ここでやりたい！

03 子どもたちが感じる、衰えないクッション性

この場所の耐久性を証明しているのは、日々の多様な活用状況だ。日常的な遊び以外にも、お遊戯会や二、三十名の園児が一斉に駆け回る運動会の練習、さらには卒園児たちのサッカー活動。外部グラウンドが使用できない際の代替地として利用されているが、子どもたちからの評判は極めて高い。「ここでやりたい」という声がかかる理由は、激しい動きを支える柔らかな足場にある。

先生はこう語る。「導入から3年経ちますが、クッション性は失われていません」

施工1年目には性質上避けられない継ぎ目の伸縮メンテナンスは経たものの、3年目を迎えた現在もクッション性は健在。10年という異例の長期保証を掲げるその耐久性は、過酷な現場で証明されつつある。

04 快適すぎて、職員が日よけを自作！

屋上が快適な遊び場になったことで、新たな変化が生まれた。「子どもたちのためにもっと良い環境を作りたい」という職員たちの想いが形となり、なんとDIYが得意な職員を中心に、可動式の日よけと防虫ネットを自作してしまったのだ。



良い床材を入れたことで、職員のモチベーションまでが向上した象徴的なエピソードだ。

なぜ

この人工芝は3年間の酷使に耐え、今もクッション性を維持できているのか？

酷使され、雨風にさらされ続けて3年。今もなお、新品同様のクッション性を維持している事実を、誤解を恐れずに言えば「異常」です。
もし景観用の人工芝を園庭に敷いた場合、その寿命は長くても2年。子どもたちの運動量に耐えきれず、芝は踏み潰され、硬い床へと変わり果ててしまいます。では、なぜさくらキッズが導入した園庭専用人工芝『キンダーターフ』は劣化を免れたのか？
それは、開発者自身がかつて人工芝選んで850万円を失うという泥沼の失敗を経験したからです。だからこそ「絶対に失敗しない芝」を作らざるを得なかったのです…

850万円をドブに捨てて掴んだ血と汗の開発秘話を、次のページで公開します。

施工から3年
衰えぬ品質と、
園の愛着が生んだ工夫

Dead Space



Before

After



今は青空のもと
屋上いっぱい使って活動の場に

01 0歳からの安全を守る園として、むき出しのコンクリートは見過ごせなかった

専任講師による体操教室やサッカー指導など、身体を動かす教育に力を注ぐ『さくらキッズ』。しかし、かつての屋上はコンクリートがむき出しで、転倒時のリスクから満足に活用しきれないデッドスペースであった。「以前は床が硬く、どうしても転ぶと危ない。そのため遊びづらい場所でした」3年前の導入当時を知る先生はかつての屋上をそう振り返る。

しかし、人工芝を導入してから状況が一変した。クッション性が確保され、転んでも痛くない環境になったことで、屋上は活用しづらい場所から子どもたちが集う遊び場へと生まれ変わった。

今では幼稚園のプレ保育で受け入れている2歳児や、分園の子どもたちも足を運ぶほど、活気あふれる第2の園庭として機能している。

02 雨上がりの水たまり問題が解消

コンクリート時代、もうひとつの問題は水はけだった。雨があがっても水たまりが残るため、翌日まで使えないことも多かったのだ。しかし現在は、抜群の水はけを誇る人工芝により、そのストレスも解消された。

「雨直後に表面が濡れていることはあっても、以前のように水たまりで遊べなくなることはありません」(先生談)。

天候に左右されない環境が、子どもたちの活動時間を最大化している。



memo



園庭専用人工芝 キンダーターフ

取材時、唯一の課題として挙げられた冬場の静電気。これは業界が長年諦めてきた人工芝の宿命だった。しかし最新モデルでは、芝の中に制電ファイバーを織り込むことでこの壁を突破。冬場でも放電を抑え、より快適に遊べるよう進化を遂げている。

デッドスペースだった屋上が、転んでも痛くない第2の園庭へ

2度の

失敗から生まれた人工芝

私が850万円を
ドブに捨てて、
やっとたどり着いた答え



フィールドマジック人工芝開発者
名和 政宏



キンダーターフがカチカチの床にならないのは、開発者である名和自身が、かつて人工芝に対して数えきれないほどの試行錯誤と失敗を経験してきたからです。

野球スクール事業を手掛けていた当時、室内練習場に人工芝を敷設することになりました。国内外の製品を比較検討し、一番触り心地が良かったものを選んで導入しました。

しかし、わずか1年後。人工芝は完全に踏み潰されただけでなく、破れたりちぎれたりした結果、使い物にならなくなってしまいました。850万円を失った一度目の失敗です。

「満足できる製品がないならば、もう自分で作るしかない」

苦い経験から人工芝について調べ尽くし、満足していく人工芝の開発に成

功！しかし園庭に施工したところ新たな壁に直面します。激しい遊びに耐えきれず、すぐに劣化してしまいました。これが二度目の失敗です。

この失敗で、「その環境専用の特性を持つ人工芝が必要だ」という結論に達しました。工場と粘り強い交渉を重ね、試作を繰り返した末に誕生したのが、園庭専用人工芝「キンダーターフ」です。

キンダーターフが園庭専用と謳われる3つの理由

1. 圧倒的な耐久性



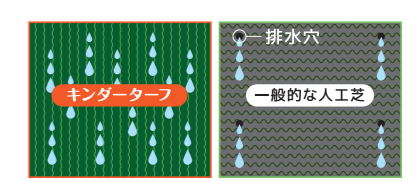
子どもたちの激しい遊びでもペラペラにならないよう、一般的な製品の約1.7倍という超高密度設計を採用。

2. 絶対的な安全性



全芝丈4cmのうち3cmを衝撃吸収層が占める厚いクッション性で、万が一の転倒時も子どもたちを優しく守ります。

3. 卓越した排水性能



裏面全体がメッシュ構造のため水はけが非常によく、雨上がりでもすぐに遊ぶことができます。

キンダーターフには、
二度の失敗から生まれたノウハウと
子どもたちの遊びと安全への妥協のなさが
凝縮されています。



あなたの失敗をなくす



10年以内に破れたり、ちぎれたりした場合は無償で補修・交換します。
もちろん施工・出張費不要。10年間使い続けられることをお約束します。

W保証



新しいものを導入してよくあるのは「思ったのと違った」。
ご満足いただけなかった場合、30日以内は理由を問わず返品・全額返金が可能。

「あなたには、人工芝で失敗してほしくない」。開発者自らの苦い経験から生まれたこの想いは、フィールドマジックの誠実さそのものです。私たちは、その約束を「保証」という形で表しています。

新年度応援

施工費完全無料キャンペーン

先着5園様限定!

50㎡以上のご契約で 施工費用を弊社が全額負担いたします。

もうプール遊びのたびに、砂で汚れた子どもたちの足を一生懸命拭く必要はありません。高密度・高排水設計により、滑って転んだり、水溜まりができる心配もありません。正直、夏場は表面が熱くなるデメリットもあります。しかし、サッと水を撒けばすぐに温度は下がるのでご安心ください。

しつこい営業はいたしません!

まずは1m角の無料サンプルで、「裸足の心地よさ」をぜひ先生方みなさまでお確かめください。

Webからが便利です▶



無料サンプル請求はこちら

お電話、またはWebサイトからお申し込みください。

052-898-4188

受付時間 9:00~21:00 [年中無休]

「ほいくジャーナルを見た」とお伝えいただくとスムーズです 〒465-0025 名古屋市名東区上社2丁目218森本ビル4C

創業16年・全国138園の施工実績 人工芝専門店 フィールドマジック

P.S. お届けするサンプルは、今回取材した園で採用されている製品と全く同じものです。その圧倒的な品質を、ぜひご自身の目でお確かめください。





「保育の質とはなにか」
その「質」を科学的に検証し、エビデンスに基づいた保育の在り方を提唱するために設立されたのが、日本唯一の国立幼児教育研究拠点、東京大学CEDEP(発達保育実践政策学センター)です。
野澤祥子先生は、同センターの設立当初から日本の「保育の質」の向上に邁進されてきました。
そんな野澤先生がこの道に進んだ原点は、意外にも極めてシンプルで、目の前の命への驚きでした。「教育心理学の道へ進み、実際に赤ちゃんを目の当たりにしたとき、その面白さ、不思議さに一気に引き込まれたんです」。
「非認知能力」を子どもの育ちの本質として私たちはどのように捉えるべきでしょうか。現場の最前線に立つ近末園長との対話を2回にわたりお届けします。

みんなで子育て代表 **近末 克紀** 対談 **野澤 祥子** 東京大学 CEDEP 特任教授

なぜ今「保育を科学」するのか

近末 CEDEPは日本唯一の国立幼児教育研究機関ですが、設立された理由を教えてください。
野澤 「子ども・子育て支援新制度」がスタートした2015年当時、保育所を新設する「量の拡大」が最優先でした。その中で保育の質も確保する為、子どもたちのよりよい環境を科学的に研究していくという背景から設立されました。

近末 それは非認知能力というものの重要性というところに結びついてきますか。
野澤 ええ、そうですね。特に学校教育以上では、学力や認知能力に注目されがちですが、実は非認知能力というのは、とても重要なんです。乳幼児期も同等ということが、様々な研究から明らかになっていきます。
非認知能力は単純に「教える」ことはできない。教えたらそれは主体性ではないですよ。環境を通して、関係性の中で育まれるも

のなんです。その非認知能力を育むための環境というのはどういうものなのか。それが大きな問いになります。
近末 学校教育の現場でも重要といわれていますよね。
野澤 ええ、今までの学校教育ではテストで点を取る、成績をよくすることにフォーカスされてきました。今は「どのように自分で考えて他の人と共に新しいものを生み出すか」が重要になってきますね。特にこれからの教育では、正解を求めるだけじゃなく、身の回りのことから経験し、考えていくことが重要です。

野澤 特に乳幼児期は、身の回りのことから経験しながら考えていく、いわゆる探究と言われるようなことがすごく大事です。
子どもたちは「これはどうなっているんだろう」という意識をも

乳幼児期は探究心や探索心が最も豊かな時期

野澤 特に乳幼児期は、身の回りのことから経験しながら考えていく、いわゆる探究と言われるようなことがすごく大事です。
子どもたちは「これはどうなっているんだろう」という意識をも

保育士そのものが環境である

東大CEDEPと考える、非認知能力を育む「関係性」のデザイン

思い出したね。
僕は保育園は社会の縮図だと思う。だから大人が色々な経験ができる環境を整えて、その中で子どもたちが非認知的な部分、社会性を育んでいけるようになればと思います。

「共に楽しみ、保育をデザイン」

野澤 そうですね。今の事例みたいに子どもたちの興味がどこにあるか気づき、なおかつ、先生自身も子どもたちと一緒に興味をもつことが重要です。そうすると他の子どもたちも興味をもつんです。そしてその興味を実現するために保育の中でデザインしていく、そうすれば子どもたちの経験がさらに広がっていきます。

先生同士が協力しあう、「協働すること」の重要性は調査の結果からも表れています。

近末 ええ、ぼくも職員同士の対話を通じてごく大事にしています。僕は園長という立場ですが縦のつながりよりも横でつながっていたと思います。今、目の前の子どもたちにもどう接していけばいいのか？それをみんなで考えながらチーム保育を行っていきたいですね。

野澤 その通りですね。
近末 ではそういう保育環境を作



り出すためのポイントを教えてください。
野澤 協働をどうやって生み出すかは園長先生のリーダーシップがとても重要なことが、調査結果から分かっています。園長先生をはじめ管理職やマネジメント層の先生が機会を積極的に作り出す、そこで協働したり対話を繰り返しながら関係性をつないでいくことですね。

大切なのは多様な意見が交わされることで、そのためには若い先生や非常勤の先生も意見をいえるようにして、毎年繰り返ししている形式的な行事などを見直せる、というのが理想です。やはり面白いことを生み出すためには組織の柔軟性が必要になりますね。

近末 なるほど。僕の園ではお給料日に職員面談しています。そこで職員のもつ課題とか努力している部分や自分たちが目指す理念とか保育目標を確認し合います。僕は職員一人一人が課題をもって自分たちの保育や仕事を語れるようになってほしいんです。それが保



育力をあげるのだと思ってるの。そして、先生の言う通り、毎年やっている行事だからやるというのではなく、現場に目を向けられるリーダーシップを養ってほしいと思っています。
いい環境の核は人間関係の質
近末 先生が思う「いい園」とはどういう園ですか？
野澤 やはり関係性かなと思ってます。究極的に言えば、人間関係の質なんです。例えば、昭和型の保育をしている園が古いとか悪いとは思っていません。例えば、地方に行くと、子どもたちの様子が都市部とは全く違うんですよ。配慮が必要な子どもも少なく、子どもたちがすごく落ち着いている。大切なのは、先生と子どもたちの関係性、子どもたち同士の関係性なんです。それは園の種別に関わらず、どの園にも共通して必要なものです。
つまり「こういう保育じゃなきゃいけない」という事ではないんですね。私は発達心理学者としても、子どもたちの well-being (幸福感) を最も大切にしています。それは非常に相対的なものであり、環境によって大きく変わるものなんです。(次号へ続く)



のぞむ 野澤 祥子



東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 特任教授
乳幼児の発達や保育の実践、政策に関わる研究を行う。自治体の子育て支援や保育の質向上に向けた取り組みを協働で展開している。専門分野は発達心理学と保育学。博士(教育学、東京大学)。内閣府「子ども・子育て会議」委員や厚生労働省「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」委員などを歴任。主な著書には、『親子関係の生涯発達心理学』(分担執筆、風間書房)、『乳幼児の発達と保育：食べる・眠る・遊ぶ・繋がる』(分担執筆、朝倉書店)、『園づくりのことは：保育をつなぐミドルリーダーの秘訣』(分担執筆、丸善出版)などがある。

◀ 東京大学大学院教育学研究科付属発達保育実践政策学センター



ちかすえ 近末 克紀



みんなで子育て株式会社代表取締役、小規模保育園またあした園長、足利短期大学こども学科非常勤講師、大泉保育福祉専門学校非常勤講師、ほいくジャーナルディレクター 21年間の保育士経験と、自身の子育て経験に結び付いた研修は「説得力があり、イメージしやすく、すぐ実践できる!」と大好評!!
第66回全国私立保育研究大会第7分科会「子育て支援」助言者、千葉県流山市民間保育所協議会研修会講師 など

◀ 「またあした」HP





フォロワー
2.4万人!

保護者と先生の双方から
信頼される元小学校教員

「オレンジ先生」が教える

～ 保育士が知っておきたい発達障害 ～

保育現場が変わらない本当の理由とは

子どもの好き・嫌いから支援の根拠をよみとく
情報は支援のヒントへ

支援に転用する3ステップ

- 具体的な事実を複数集める**
 - 「鬼滅・ドラゴンボールが好き」
 - 「役割が分かる遊びに強い」
 - 「くじ引きが好き」
- 事実を抽象化一般化する**
 - 役割が明確だと理解しやすい
 - 見通し+適度な刺激があると動きやすい
- 支援活動につなげる**
 - 役割カードを用意する
 - 手順・見通しを視覚化する
 - “ワクワク要素”を小さく仕込む(選択肢/くじ要素/ミッション化等)

「好き」そのものではなく「好きが成立する条件」を支援の根拠とする

保育や支援の現場では、子どもの「好きなもの」を知る機会が多くあります。これらは、会話のきっかけや褒美設定として使われがちですが、そこで終わらせるのは非常にもったいないです。子どもの嗜好には、その子の世界のとらえ方や感覚の使い方、さらには「どんな条件で脳が動きやすいか」が反映されています。この視点をもつことでどんな子どもに対しても再現性のある支援が可能になります。

自己コントロール能力を育てて激しい癇癪を減らす
困った行動ではなく手がかりへ

声かけ例



保育士が子どもの感情を代弁して一緒に解決する

泣く・怒る・黙り込む・激しい癇癪など激しい感情の表出は、その子が自分でも処理しきれない内面の状態を必死に伝えようとする「重要なメッセージ」。荒れた感情は、共に読み解き、分かち合うべき「ヒント」として受け止めましょう。子ども自身が問題を解決する力を育てるために、「今、頭の中はどんな感じかな?」と一緒にイメージし、感情にふさわしい言葉のラベルを貼る手助けをします。すると、子どもは混沌とした感情を整理し始め、これを継続することで、激しい癇癪が減るケースが多く見られます。

幼少期には怒りや悲しみといった「感情の名前」よりも、絵本などに出てくるような「キヤラクター」にたとえて教える方が理解しやすいです。この「働きかけは、自分自身を客観的にとらえる「メタ認知」の土台を育みます。たとえ言葉が未熟な年齢でも、「今自分は怒っているんだな」「今は不安なんだな」と自分の状態を認識できるため、自己コントロール能力につながります。

執筆者紹介 オレンジ先生・川端佑典 (かわはたゆうすけ)

東京都東久留米市出身。立教大学文学部教育学科卒。神奈川県横浜市の公立小学校で6年間勤務。子どもがよりよく育つためには保護者支援の必要性を感じ起業。株式会社Orange U代表。Instagramはフォロワー2.4万人。親しみやすさと専門性を強みに「親子がお互いを尊重できる関係」を築けるよう発信活動を行う。講座では、保護者・先生向けに発達支援や認知科学コーチングの視点から「その子理解」、そして保護者・先生自身の「自分理解」の方法を伝えている。講演活動やZoom勉強会主宰、Voicyラジオパーソナリティほか。



Instagram

障害児支援研修を受けても、なぜ現場が楽にならない。



そんな声を、これまで何度も耳にしてきました。私自身も小学校教員時代に多くの研修を受け、発達障害について学んだものの、実際の現場ではなにも変わりませんでした。

なぜ研修が生かせないのか

これは多くの研修が「特性理解」つまり、「ADHDだから多動・衝動性・不注意が出やすい」「ASDだからこだわりが強い」などの診断名を軸にした理解で止まってしまっているせいです。

これは大切な視点ですが、それだけで子どもを理解できたと誤解してしまう落とし穴があるため「着眼点」を変える必要があります。

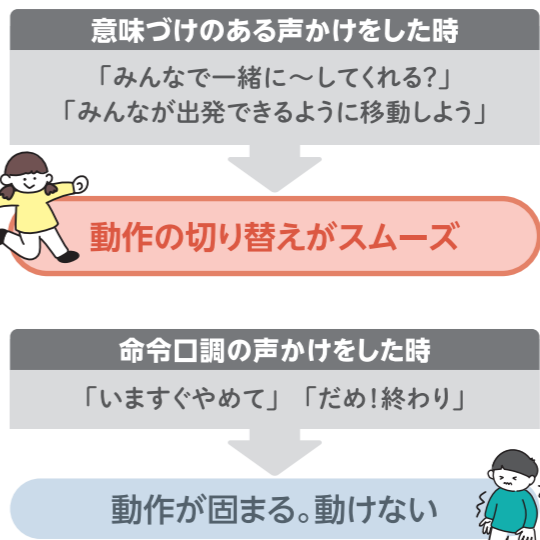
「特性理解」ではなく「その人理解」

特性理解は「O型だからおおうか」「A型だから几帳面」といった血液型占いのように人を理解した「つもりになる感覚」に似ています。それはあくまで「傾向」であり「その子自身の姿」ではありません。本当に必要なのは「その人理解」です。

今回はこの『その人理解』をテーマに、先生たちの分析眼をレベルアップさせる方法をお伝えします。実は特別な技術ではなく、視点を少し変えるだけで実践できるんです。

特性で判断せず、目の前の“反応”を読む

× 特性理解 ○ その人理解



特性フィルターを通して見てしまうとその子の本当の姿を見失うリスクがあります。大切なのは、目の前のその子「特有の反応」をありのままに観察することです。例えば、ある活動から次の活動に移る際、体が固まって動けなくなる子がいるとします。特性として「切替えが苦手」とだけみるのではなく、声かけのパターンを変えてより細かい反応をみてみましょう。

何に不安を感じてどこで安心のスイッチが入るかは千差万別で、特性はあくまで方向性を示す「手がかり」に過ぎません。今の「現在地」をリアルタイムで教えてくれるのが目の前の反応です。手がかり(特性)だけに頼るのではなく、「現在地」を丁寧にとらえることが、『その人理解』の真の出発点になります。



ほいくジャーナル 読者特典

無料 研修会・相談会

ただいま、Orange Uでは、より良い支援を子どもたちに届けるべく、事業者様向けの1時間半ほどの研修会・相談会をご提供しています。公式LINEから申し込みください。



公式LINE

「ほいくジャーナルを見た」とお伝えください。

現場を止めない 2分の対話術



「ちょっと違うなと思ったので、辞めます」
「続けられる自信がないので、辞めます」
「電話に出るのが嫌なので、辞めます」
最近耳を疑うような理由で職場を去ってしまう若手職員が増えています。ちょっと厳しい指導をしただけで心が折れてしまふ...。そんな彼らにどう接していますか？

注目の「1on1」がなぜ保育現場では苦痛になるのか？



近年、人材育成のトレンドとして「1on1（ワンオンワン）ミーティング」が注目を集めています。上司と部下が定期的、かつ1対1で対話するこの手法は、LINE ヤフー株式会社をはじめ、多くの先進企業で導入されています。
しかし、この1on1は難易度が高いため現場からは「時間の無駄」「何を話せばいいかわからない」というネガティブな声も多く、最悪の場合「1on1が苦痛なので辞めます」という、本末転倒な事態を招きかねません。

保育現場で1on1ミーティングがうまくいかない3つの理由

- ☑ **物理的負担が重すぎる**：常に子どもと向き合う現場では30分の時間確保も至難の業。現場の大きな負担になってしまう。
- ☑ **話のテーマが難しい**：「何でも自由に話していい」の自由度がかえって仇となり、表面的な世間話で終わってしまいがち。
- ☑ **傾聴スキル不足による説教への変質**：部下の成長を促しモチベーションを向上させるためにはコーチング技術が重要。知らないといふ「上司の説教」になりがちで、部下にとっては苦痛の時間。

そこで

今日からできる新習慣『マイクロ1on1』

最低限の対話だけで大きな効果を生む『マイクロ1on1』は1回2~3分程度で完了する「小さな対話」の積み重ねです。深い話や難しいテーマ、形式張った面談室の対話ではなく、子どもたちのお昼寝の合間や移動中のカジュアルな立ち話でも可能です。

マイクロ1on1の心得 一回あたり2~3分程度

タイミングを見極める

お昼の合間や朝礼後のちょっとしたタイミングに相手の業務が一段落したタイミングで声をかける。

「解決」しようとしな

「関係構築」「観察」「気分転換」に徹し、ちょっと休憩くらいのカジュアルな雰囲気で行う

「聴く」が9割

上司は「相づちとオウム返し」だけでいい。



マイクロ1on1の具体例

〇〇先生、ちょっといい？

はい、何でしょうか？

最近、ピアノが上達してるね。練習頑張ってるんでしょう？

ええ、ちょっと苦手なので、少しずつ練習してます

すごいね、だけど無理しすぎて寝不足にならないようにね

はい、気をつけます

じゃあ、今日もがんばろうね、よろしく！

good!

明日から使える / マイクロ1on1の有効ワード

「最近どう？」「調子はどう？」
▶ 相手の状態を把握する万能の質問

「困ったことはない？」
▶ 小さな問題はその場で解決、複雑なことはあらためて！

「体調は大丈夫？」
「忙しそうだけどテンパってない？」
▶ 相手がうれしくなる「気かけ」の言葉

「〇〇が上手だったね」
「いつも助かるよ」
▶ 心を開いてくれる「承認」の言葉



なぜ『マイクロ1on1』が有効なのか？

- 1 回数の魔法（サイオンス・単純接触効果）：**
接触の「回数」が多いほど親密度は増します。月1回の30分より、週3回ほど2分ずつ雑談する方が信頼関係は作りやすい。
- 2 タイパ（タイムパフォーマンス）重視：**
Z世代はタイパを重視するので、「要件のない長い会議」よりも、「短いケア」の方が自分を尊重してくれていると感じます。
- 3 心理的安全性の構築：**
普段から「気かけ」を繰り返すと「怒られる相手」から「相談できる相手」へと認識が変わります。重大なミスや悩みをすぐに相談できる関係性が生まれます。

部下を気かけ、表情や姿勢、使う言葉の変化に目を向ける。困りごとがあれば、できるだけ早くフォローする。「困ったら、いつでも頼っていい」と感じてもらえる関係性と安心感をつくるのが、働きやすい環境につながりますので「働きやすい環境をつくる」という意識を持ってみてください。その積み重ねが、「この園で働きたい」と思ってくれる若手職員を増やしていくはず。



中城 卓哉 (なかしろ たくや) パワーコーチ株式会社代表取締役

独立してからの18年間で、プロコーチとして9,000名以上の方のメンタル改善に貢献。市長、県議会議員、経営者、ベストセラー作家から、鬱の人やカルト宗教の元信者まで、幅広いクライアントの支援実績がある。講師としては、株式会社日立製作所、東京商工会議所、調布市、川西市、日経B.P.社、マセラティ・ジャパン株式会社、上智大学、千葉大学、大妻女子大学など、多くの企業・団体・学校で講師を務めている。

コーチング事例 人間関係のしがらみでモチベーションが無くなった県議会議員 → やる気を取り戻し、その後市長に当選

営業成績が上がらず、生活のためにアルバイトしていた生保レディ → 営業成績で全国8位を達成

ほいくジャーナル 読者特典!
無料プレゼント!

「部下への対処法」研修のレジュメ

本記事で伝えきれなかった内容がたくさんあります。そこで、「もっと深く知りたい」という方のために、以前弊社で実施した研修のスライド資料を無料でプレゼントいたします。(クライアント企業の情報は一部削除してあります)

詳しくはこちら



部下への対処法

「制度改正」を園の未来を守る

「備え」に変える



こんにちは。補助金コンサルタント・認定支援機関・行政書士の小串滋彦です。

2026年度、私たちの業界はかつてない大きな転換点を迎えます。

「子ども誰でも通園制度」の本格実施、激甚化する自然災害、そして高騰し続けるエネルギーコスト。今このタイミングこそが、園が長年抱えてきた経営課題を公的な支援を活用して解消できる「好機」かもしれません。

1 経営を圧迫する「電気代」を国の予算を使って対策をする

最近、多くの経営者の方から相談をいただくのが、経営を圧迫する「光熱費の高騰」です。これに対する切り札が、環境省の「地域レジリエンス・脱炭素化推進事業」を活用した「エネルギーの自活」です。これは、災害時に地域の避難施設等としての役割を持つ施設を対象に、太陽光パネルや蓄電池の導入を支援するものです。

- 対象となる設備例**
太陽光発電設備、蓄電池、充電設備（V2H）など。
- 補助率**
導入費用の最大1/2～2/3（※民間園の場合は個別の確認が必要）
- 実務的なメリット**
平時は自家発電により固定費を削り、災害時は「**停電しない園**」として信頼を高めます。



1. 環境省：エネポートタル（地域レジリエンス・脱炭素化推進事業：太陽光・蓄電池関連）



2 「新制度」で施設をアップデート

2026年度から新たな給付として本格始動する「乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）」。国は制度の円滑な導入に向け、ICTシステムの構築や施設改修への支援を予算化しています。

- 施設リフォームの支援**
「保育所等改修費等支援事業」を活用すれば、新制度対応に必要な環境整備（専用室の確保や内装改修など）に対し、公的支援が受けられます。
- ICTで現場を楽にする**
システム導入と端末購入に対して最大130万円規模（4機能導入時）の補助が用意されています。



制度に合わせて直すのではなく、補助金を活用して**以前から課題だった施設環境を、最新の基準に合わせて一新**する。そんな経営の判断が保護者に選ばれる園作りへの近道です。

2. 子ども家庭庁：予算情報（保育対策総合支援事業費補助金・新制度ICT・施設整備関連）



3 「BCP認定」という補助金レースの「優先チケット」

意外と知られていないのが、防災・減災の事前対策に関する計画「事業継続力強化計画（BCP）」の認定です。この認定を受けているだけでものづくり補助金やIT導入補助金などの審査において**政策加点（優遇）が受けられます**。「わが園は災害時でも事業を止めない」という姿勢を公的に示すことが、自治体との協議をスムーズに進め結果として補助金採択という実利をもたらします。



3. 中小企業庁：事業継続力強化計画（BCP）（2026年度版 補助金加点措置の運用指針）



4 補助金活用に絶対必要な専門的な視点「情報」と「順番」を見抜く

こうした補助金の活用や制度対応には、以下の3つの専門的な視点が不可欠です。

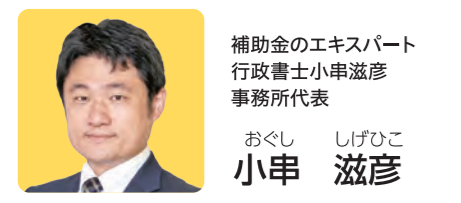
- 法律・制度の理解**
自治体との協定締結や、複雑な交付規程の正確な解釈。
- 財務の視点**
投資に対する回収期間の算出や、長期的な収支計画の策定。
- 戦略的な発想**
設備を導入するだけでなく、それを園の「強み」にどう繋げるのか。



これらの問題全てを多忙な園長先生が一人で精査するのは現実的ではありません。溢れる情報の中から**「貴園にとって今、どの制度を、どの順番で活用するのが最適か」**を正しく見極める事こそが、補助金の獲得、安定経営への一番の近道です。

制度が変わる節目は、これまでの非効率を見直し、新しい仕組みを取り入れる最高の機会になります。まず、今貴園の「一番の重荷」からお聞かせください。その負担を園の未来を守る「備え」へ変えるお手伝いをいたします。

「何から始めたらいいかわからない」「補助金や奨励金を無駄なく活用したい」方は、ご相談ください。



補助金のエキスパート
行政書士小串滋彦
事務所代表
おぐし しげひこ
小串 滋彦

1982年8月生まれ、傷つきやすい乙女座A型。神奈川県在住。事業拡大や新規事業を開始する企業・事業者向けに補助金を活用した技術導入の支援を行うとともに、補助金活用後のアフターフォローにも注力している。

高校時代から弁護士を目指し、学習院大学法学部、駒澤大学法科大学院を経て司法試験に挑むも3連敗。当時有していた行政書士資格を活用して即独立開業したものの、1年目に獲得できた依頼はたったの1件。「仕事がない」という状態の恐怖を痛感する。

開業2年目以降、先輩行政書士からの指導を受けつつ売上金額も年々増え、事業が軌道に乗りつつあったところで新型コロナの影響により月間の売上が30%減少、給付金を受給する必要に迫られる。

このような経験から、事業継続のための資金繰りの重要性を感じ、「現状を変えたい」と考える企業や事業者を資金面で支援する方法として補助金申請の支援を開始、1年間で1億円以上の補助金の採択獲得に成功する。

法科大学院時代に身につけた、「難しい言葉をかみくだいて説明する」という姿勢がお客様から「説明がわかりやすい」との評価を受けている。また「楽しそうに仕事の話をするよね〜」との声もいただけており、土業っぽくない雰囲気大好評。

「仕事は世のため、人のため。企業や事業者の成長を支援することで社会が活性化し、その結果、ひとりひとりの生活がより良いものになっていく」との信念のもと、今日も書類の山と格闘中。

ほいくジャーナル読者特典
初回相談 **1時間無料**

「補助金は使わないともったいない!!」
貴園に最適な補助金・助成金を提案します!

先着 **10園** 限定

「ほいくジャーナルを見た」とQRコードまたはメールよりご連絡ください

お問い合わせ先
行政書士小串滋彦事務所
〒238-0017
神奈川県横浜須賀本市上町1丁目4-4 メゾン中里1階
☎ 046-890-5520
✉ shigehiko4094@biscuit.ocn.ne.jp